科目ナンバリング	G-LAS00 80002 LJ20						
授業科目名 <英訳>	研究倫理・研究公正（人社系） Research Ethics and Integrity(Humanities and Social Sciences)			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 特定教授 塩見　淳 国際高等教育院 准教授　酒井　博之 人間・環境学研究科 准教授　中村　仁紀 人間・環境学研究科 准教授　仁井田　千絵 教育改革戦略本部 特定教授 Mitsuyo Wada-Marciano		
群	大学院共通科目群			分野(分類)	社会適合	使用言語	日本語
旧群		単位数	0.5単位	時間数	7.5時間	授業形態	講義（メディア授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	曜時限	集中 6/6、20、27	配当学年	大学院生	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

研究をこれから始める大学院生に責任ある行動をする研究者として身につけておくべき心構えを学ぶ。研究者として従うべき規範に沿った研究の進め方、研究成果の適切な発表方法など、研究倫理・研究公正の概要とともに、知的財産法との関わりや研究費の適切な使用についても講義する（第１講～第３講）。
座学に加えて、グループワークとして、具体的な事例を取りあげてディスカッションを行う（第４講）。

[到達目標]

研究者としての責任ある行動とは何かを修得する。
科学研究における不正行為の事例学習を通じて、誠実な研究活動の遂行について実践的に理解する。

研究倫理・研究公正についての理解度を「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」の受講により確認する。

[授業計画と内容]

第１講 研究倫理・研究公正で問われていること（１）その内容と「不正」の実態
１．はじめに
　１－１．なぜ、責任のある研究活動なのか？
　１－２．京都大学研究公正推進アクションプラン
　１－３．研究活動のなかでの研究不正
　１－４．研究倫理／研究公正
２．研究上の不正行為について
　２－１．研究不正の定義－特定不正行為
　２－２．特定不正行為に対して行われる措置
　２－３．特定不正行為の認定
　２－４．好ましくない研究行為／疑わしい研究行為
　２－５．米国科学アカデミーによる研究不正のカテゴリー分類
　２－６．研究不正事件の紹介
第２講 研究倫理・研究公正で問われていること（２）人文・社会科学系に着目して
３．人文学・社会科学分野における研究不正
　３－１．研究不正に関して特徴的なこと
　３－２．研究不正の背景
　３－３．盗用とその周辺
　３－４．オーサーシップ
　３－５．インフォームド・コンセントについて
第３講 研究倫理・研究公正と法／研究費の適正な使用

研究倫理・研究公正（人社系）(2)へ続く↓↓↓

研究倫理・研究公正（人社系）(2)

１．法との関わり－「盗用」と著作権
１－１．知的財産権としての著作権
１－２．著作権の内容
１－３．他人の著作物の利用
１－４．著作権の侵害を受けたときの対抗措置
２．研究資金と契約
２－１．研究資金の諸形態
２－２．研究費使用のルール
３．利益相反
３－１．利益相反とは
３－２．利益相反への対応
４．公的研究費の適切な取扱い
４－１．科学研究費補助金について
４－２．使用に当たって注意すべきこと
第４講 グループワーク
１．事例についてのグループ・ディスカッション
２．「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」の受講

[履修要件]

外国人留学生については、同時期に開講する英語科目、あるいは後期に開講する英語科目の履修を推奨します。

For international students, it is recommended that they take an English course offered at the same time or in the second semester.

[成績評価の方法・観点]

成績評価は合否の判定による。
第１講～第４講の全て出席すること、第４講のグループワークに積極的に参加すること、並びに、「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」を修了することが合格の要件である。課題提出を求めた場合は、提出物の内容を評価して合否を判定する。
なお、eラーニングコースは授業の前に団体申込みを行う。そのために必要な受講生の登録手続の詳細は、別途、履修登録者に連絡する。受講生に費用負担は生じない。

※eラーニングコースについては、「日本学術振興会」が実施するものを受講すること。
「公正研究推進協会（APRIN）」が実施する「eAPRIN」は修了要件として認めない。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
真島俊造・奥田太郎・河野哲也編『人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック』慶応義塾大学出版会（2015年）ISBN978-4-7664-2255-9
日本学術振興会編『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－〔第２版〕』丸善出版（2025年）ISBN978-4621311851]（日本学術振興会のHPよりテキスト版をダウンロード可能。）
米国科学アカデミー編　池内了訳『科学者をめざす君たちへ－研究者の責任ある行動とは〔第3版〕』化学同人（2010年）ISBN978-4759814286

研究倫理・研究公正（人社系）(3)へ続く↓↓↓

研究倫理・研究公正（人社系）(3)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業がすべて終了した後に、指示に従って、日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」を受講すること。

[その他（オフィスアワー等）]

【メディア授業科目】
第１講から第３講は、６／６（土）１-３限にZoomによるオンライン授業（同時双方向）の方式で実
施する。
第４講のグループワークも、Zoomによるオンライン授業（同時双方向）の方式で実施する。なお、

ディスカッションは顔を出して行う。グループワークは履修者が多数となるため、
A（６／２０(土) １-２限）、B（６／２０（土）３-４限）、C（６／２７（土）１-２限）、D（６／２７(土) ３-４限）に分けて行う。
A～Dのどの時限かは履修登録確定後に連絡する。いずれかの時限は必ず予定を空けておくこと。

[主要授業科目（学部・学科名）]